《様式１－３》

応募者が提案（想定）する歩道センシング技術

|  |
| --- |
| **公募参加者の名称** |
|  |
| **技術の概要** |
| 【記載いただきたい内容・記載例】  **提案する技術の概要（機器・処理手順の概要）を1枚以内で記載ください。** |
| **基本要件①** |
| 計測装置は市販の機器（例えばレーザースキャナ、カメラなど）を利用したもので構成し、自転車や台車への搭載または調査員の携行ができること。 |
| -A適用要件の有無（該当の選択肢に〇を付けて下さい） |
| 満たす　　　／　　　満たさない |
| 1. -B提案内容 |
| 【記載いただきたい内容・記載例】  **計測装置の構成（現時点での想定）を記載ください（計測装置の構成は下表のように整理ください。）。なお、既に計測装置が製品化されているなどの場合は、別添として製品カタログなどを添付してください。**  ＜計測装置の構成の記載例＞   |  |  | | --- | --- | | 構成機器 | メーカ/製品名 | | レーザースキャナ |  | | カメラ |  | | GNSS |  | | IMU |  |   **また、計測装置のサイズなどの仕様、自転車や台車への搭載または調査員の携行イメージ（図・写真）などを記載してください。**  ＜計測装置の仕様、搭載・携行イメージの記載例＞  自転車や台車への搭載または 調査員の携行イメージ等  計測装置のサイズなどの 仕様 |
| **基本要件②** |
| バリアフリー基準で規定される以下の事項を把握できること。（　）はバリアフリー基準。   * + 歩道の有効幅員（２ｍ以上）   + 車道に対する歩道の高さ（５ｃｍ）   + 歩道の横断勾配（１％以下）   + 歩道の縦断勾配（５％以下）   + 歩道に設ける縁石の車道に対する高さ（１５ｃｍ）   + 横断歩道に接続する歩道縁端部の段差（２ｃｍ）   + 視覚障害者誘導用ブロックの設置箇所 |
| 1. -A適用要件の有無（該当の選択肢に〇を付けて下さい） |
| 満たす　　　／　　　満たさない |
| ②-B提案内容 |
| 【記載いただきたい内容・記載例】  **基本要件で示される事項を把握するために計測機器で工夫する点、計測手法で工夫する点などを記載ください。また、実測したデータ、利用する機器の性能を示すデータなどがあれば、別添として添付してください。** |
| **基本要件③** |
| 1/500の平面図、1/50の断面図を作成できること |
| 1. -A適用要件の有無（該当の選択肢に〇を付けて下さい） |
| 満たす　　　／　　　満たさない |
| ③-B提案内容 |
| 【記載いただきたい内容・記載例】  **歩道空間の1/500の平面図、1/50の断面図を作成する手法（自動図化・手動による図化）、用いる技術、想定される作業・処理時間などを記載ください。また、実測したデータから作成した図面例などがあれば、別添として添付してください。** |
| **公募技術に期待する項目①** |
| 計測誤差として、計測した点群の隣り合う2地点間における相対的な高さ±1cm、勾配±1%を満たす精度を確保できること。 |
| 1. -A適用要件の有無（該当の選択肢に〇を付けて下さい） |
| 満たす　　　／　　　満たさない |
| ①-B提案内容 |
| 【記載いただきたい内容・記載例】  **歩道空間の地物の位置情報（標高）を想対的に高さ±1㎝で計測する、勾配の情報を±1％で計測するために計測機器で工夫する点、計測手法で工夫する点などを記載ください。また、実測したデータ、利用する機器の性能を示すデータなどがあれば、別添として添付してください。** |
| **公募技術に期待する項目②** |
| 平面図作成時の水平位置の標準偏差は25cm以内であること。 |
| 1. -A適用要件の有無（該当の選択肢に〇を付けて下さい） |
| 満たす　　　／　　　満たさない |
| ②-B提案内容 |
| 【記載いただきたい内容・記載例】  **平面図の水平位置の標準偏差を25㎝以内とするために計測機器で工夫する点、計測手法で工夫する点などを記載ください。また、実測したデータ、利用する機器の性能を示すデータなどがあれば、別添として添付してください。** |
| **公募技術に期待する項目③** |
| 歩道空間の地物の位置情報（緯度・経度および標高）を3次元で取得できること。 |
| 1. -A適用要件の有無（該当の選択肢に〇を付けて下さい） |
| 満たす　　　／　　　満たさない |
| ③-B提案内容 |
| 【記載いただきたい内容・記載例】  **歩道空間の地物の位置情報（緯度・経度および標高）を3次元で取得するために計測機器で工夫する点、計測手法で工夫する点などを記載ください。また、実測したデータなどがあれば、別添として添付してください。** |
| **公募技術に期待する項目④** |
| 歩道空間の地物の位置情報（緯度・経度）を2次元で図化できること |
| 1. -A適用要件の有無（該当の選択肢に〇を付けて下さい） |
| 満たす　　　／　　　満たさない |
| ④-B提案内容 |
| 【記載いただきたい内容・記載例】  **歩道空間の地物の位置情報（緯度・経度）を図化する手法（自動図化・手動による図化）、用いる技術、想定される作業（作業フロー）・各作業の想定処理時間などを記載ください。また、実測したデータから作成した図面例、利用する機器の性能を示すデータなどがあれば、別添として添付してください。** |
| **公募技術に期待する項目⑤** |
| 計測したデータは、「歩行空間ネットワークデータ等整備仕様（2018年3月国土交通省政策統括官付）」に基づく、歩行空間ネットワークデータの作成に活用できること。 |
| 1. -A適用要件の有無（該当の選択肢に〇を付けて下さい） |
| 満たす　　　／　　　満たさない |
| ⑤-B提案内容 |
| 【記載いただきたい内容・記載例】  **今回作成するデータから「歩行空間ネットワークデータ等整備仕様（2018年3月国土交通省政策統括官付）」に基づく歩行空間ネットワークデータに変換する手法（作業工程・手順等）を記載ください。** |
| **公募技術に期待する項目⑥** |
| データの処理技術・活用方法、その他データとの関連付けに関して考慮されていること。 |
| 1. -A適用要件の有無（該当の選択肢に〇を付けて下さい） |
| 満たす　　　／　　　満たさない |
| 1. - B提案内容 |
| 【記載いただきたい内容・記載例】  **データ処理技術で工夫する点、取得したデータの活用方法の提案、その他データの関連付けのために工夫する点などを記載ください。** |
| **公募技術に期待する項目⑦** |
| 将来の普及を考慮し、従来の計測技術より、導入コストだけではなく運用コストを含めできるだけ低価格かつ市販品を活用すること。 |
| 1. -A適用要件の有無（該当の選択肢に〇を付けて下さい） |
| 満たす　　　／　　　満たさない |
| ⑦-B提案内容 |
| 【記載いただきたい内容・記載例】  **運用コストを低価格にするために工夫する点などを記載ください。** |